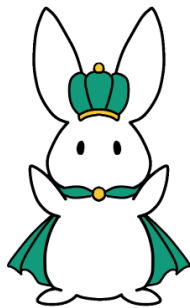


## CSRレポート2025



公式マスコットキャラクター  
レッキーくん



公式マスコットキャラクター  
レニーちゃん



発行 2026年 5月

## レッキス工業株式会社

### <経営ビジョン> 私たちが目指す姿

1. 私たちは、独自の技術・サービスを創造し、業界をリードする会社を目指します。
2. 私たちは、最高の製品・サービスの提供を通じて、信頼される会社を目指します。
3. 私たちは、地域社会に貢献し、社会から必要とされる会社を目指します。
4. 私たちは、共に考え、助け合える、働きがいのある会社を目指します。

### トップコメント



代表取締役社長  
宮川 一彦

#### <老舗企業として未来に踏み出す>

当社は、1925年に宮川工具研究所を開設以来、一貫してお客様に喜んで頂ける配管機械工具の開発、販売に取り組んで参りました。この間、紆余曲折がありましたが、2025年には、無事創業100周年を迎えました。これまで支え続けて頂いた販売先様、仕入先様、更に共同開発等でご支援を頂いたビジネスパートナー様に、改めて感謝を申し上げたいと思います。

当社は、100年を超える老舗企業として、社会から求められている「働き方改革」にも積極的に取り組み、「働きやすい職場」「働きがいのある会社」作りなど、今後の更なる社会への恩返しのために、しっかりした土台作りを目指してまいります。

#### <社は「三利の向上」を経営の柱として>

創業者が残してくれた社は「三利の向上」は、“「お客様」「社員」「社会」の三者の利をバランス良く追求していくことで事業は必ずうまく行く”という教えです。この考え方をベースに、2017年に、社員に“会社としてどうあって欲しいか?”というアンケートを取り、社員がまとめたのが、上記の経営ビジョン「私たちが目指す姿」です。

当社は、2008年より経営品質向上活動に取り組み、同活動を軸に社会に貢献できる会社づくりに挑戦しています。2023年度より、経営品質向上活動は、“顧客価値経営の推進に力点を置く”と目的を再明確に致しましたが、その活動の基本的な考え方は、当社の「三利の向上」と基本的に同じです。

このCSRレポートの公開は、当社が地域社会だけでなく、社会全体に向かって企業としての存在意義を示すためのものです。これからも 社会とともに歩んでいける会社でありたいと願っています。

#### <新たな貢献領域を求めて>

AIの普及により、各地でデータセンターの建設が進んでいますが、今後、膨大な電力が必要となるそうです。そしてその解決策として核融合発電の開発が政府の肝いりで進められているようです。核融合は安全性が高く、海水があればできるそうで島国日本にもってこいの技術だそうです。実現には10年程度かかるとの見通しがありますが、当社は、2025年に大阪舞洲で開かれた大阪・万博会場にある大阪ヘルスケアパビリオンにて、将来のアクアビジネスのあり方として、陸上養殖と水耕栽培を同時に実現するアクアポニックスシステムを提案致しました。

すでに、いくつかの大学で研究が進められていますが、この養殖に利用した水を植物の栽培に循環させる技術は今後、水不足が考えられる国々にとっては無くてはならぬシステムとなり得ます。

当社は、私たちの役割を「ワーキングアメニティを創造し、豊かな社会の実現に貢献する」としてしています。現在、配管機械工具分野が経営の柱ですが、新たな“ワーキングアメニティ”を創造し、社会に貢献していきたいと考えています。

# 独自の技術で豊かな未来を創造する商品

レッキスのモノづくりは、「お客様の喜んで頂く顔」をコンセプトに、「独自性・感動・創造性」の3つを開発ポリシーに「現場作業に見合った最適な商品」の提供を志し、作業者と作業現場に密着した商品開発を行うため、お客様の声に耳を傾け、お客様と共に歩んでいきたいと考えています。出来上がった商品は、様々な場所・場面で使用していただき、役立っていることを嬉しく思っています。



## ◆2020年度建築設備技術遺産に認定

1959年に初めて国産パイプマシン（自動ネジ切機）を開発、以来、新しい技術で様々な配管工具を開発してきたことが認められ、「切削ねじ」「転造ねじ」の開発が一連の関連技術遺産として一体で評価されました。



## 建築設備技術遺産

認定第38号 自動切り上げダイヘッド付き切削ねじ切り機および 転造ねじ加工機



「建築設備技術遺産」とは、建築設備における空調・衛生・電気・搬送の4領域に関する技術と技術者の歴史的な足跡を示す具体的な事物・資料であって、建築設備技術の進歩・発展において重要な成果を示したもののや、生活、経済、社会、地球環境、技術教育に貢献した、または当時を反映する技術遺産である建築設備技術のいずれかに合致するものをいいます。

今回の認定は昭和4年日本で初めてオスタ型パイプねじ切り器の国産化に成功したことから始まりました。その後自動切り上げダイヘッド付きのパイプマシンが登場したことにより、作業者の経験と勘に頼っていたねじ切り作業は未経験者であっても熟練者と同じ品質でねじ加工ができるようになりました。

更にこの切削ねじ切り機に続いてより良い丈夫な配管ねじを実現するために、塑性加工でねじ加工を行えることができる転造ねじ加工機の量産化にも成功しました。

ねじ部の肉厚を確保できるため溶接並みの機械的接続強度を実現し耐環境性、耐腐食、配管の長寿命化にすぐれたねじ接合の可能性を切り開きました。

# 独自の技術で豊かな未来を創造する商品

当社は、2024年度よりポータブル電源分野への参入を開始し、2025年度には新たに2機種をラインナップに追加いたしました。さらに、養殖分野においては溶存酸素調整機を発売し、新たなソリューションの提供を開始しております。これらの製品展開を通じて、環境負荷の低減に貢献するとともに、現場の労働環境の改善および業務効率の向上に寄与してまいります。



## ◆ポータブル電源 PB-AR07Pro/26Pro



弊社では、2024年度よりポータブル電源の販売を開始し、2025年度には新たに2機種をラインナップいたしました。これらは、従来機種よりも小容量のモデルと大容量のモデルで、お客様の多様なニーズにお応えできる構成となっております。いずれの機種も自社製品との併用が可能であり、日常の各種家電製品への電源供給はもちろん、災害時などの非常用電源としても幅広くご活用いただけます。また、本製品には安全性の高いリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを採用しており、充放電回数は3,500回以上と長寿命を実現しています。毎日ご使用いただいた場合でも、10年以上お使いいただける耐久性を備えております。さらに、ポータブル電源はCO<sub>2</sub>や排気ガスを排出しない、環境に配慮したクリーンな電源です。

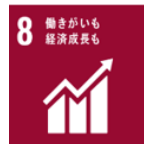
## ◆溶存酸素自動調整装置



弊社では、これまで販売してまいりました酸素溶解装置RSシリーズのポンプに本装置を取り付けることで、消費電力を大幅に削減できる新製品を発売いたしました。弊社は、鱒や鰻などの養殖に使用される機器およびシステムを提供しており、多くのお客様から電力コスト削減のご要望をいただいております。そうした声を受け、本装置の開発に取り組み、このたび製品化に至りました。なお、ご使用環境や条件にもよりますが、本装置を導入いただくことで、最大約60%の電力削減が可能となります。これにより、運用コストの低減だけでなく、消費電力の削減による環境負荷の軽減にも貢献します。さらに、養殖現場の効率化と安定運用を実現することで、養殖産業の発展に寄与するとともに、生産される魚類の安価かつ安定的な供給にもつながるものと考えております。

# 業務の効率化 (DX 推進)

早くから、デジタル化による業務の効率化に取り組んできたおかげで、新型コロナ禍でのリモート対応や働き方改革への対応にも、短期間で着手、完了ができました。また、お客様にホームページに登録いただくことで、定期的な情報発信や特別なサービス提供ができる「レックス倶楽部」の仕組みの導入、さらにInstagramによる、情報提供も始めており、お客様との新しいコミュニケーションの方法を模索しております。



## ◆お客様とのコミュニケーション手段の充実

当社ホームページにある「レックス倶楽部」にご登録いただくと、取扱説明書、安全データシート (SDS)、ソフトウェアのダウンロード、所定フォームでのお問い合わせ、カタログ冊子のご請求、お客様カードのご登録など、これまでになかった特別なサービスが得られる特典があります。これまで、多くのお客様にご愛顧いただき、創業以来、事業を続けてこられたという歴史がありますが、これまでお客様と効率的、効果的に情報共有できる仕組みがありませんでした。デジタル技術の導入はそうした状況を一変させており、当社のお客様とのコミュニケーションの手段は日々進化しています。

REXからの情報は随時配信中!是非お見逃しなく!

WEBサイト



instagram



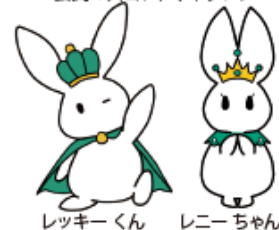
Facebook



REX倶楽部



公式マスコットキャラクター



レッキーくん

レニーちゃん

お客様カード WEBからも登録できるようになりました。

## ◆マシニングセンター (MC) による部品加工の自動化

当社では、積極的にマシニングセンター (MC) を導入し、部品加工の自動化を進めています。沢山の品種があるため、これまで専用の加工機による作業が多かったのですが、MC の導入により、作業の効率化が進んでいます。



# 新しい価値提供 (DX 推進)

当社は、大手事業者様からの要請を受け、それまでは「経験と勘」に頼りがちだった配管検査を、デジタル技術を使う事で誰でも同品質の検査を可能とする「みるみるくん」の開発にチャレンジ致しました。ユーザー様の使い勝手を大きく改善するために、膨大なソフト開発が伴いましたが、そのことにより社内に更なるデジタル技術の蓄積ができ、結果として、お客様のお困りごとを丁寧に解決していく、新しい価値提供ができるようになりました。

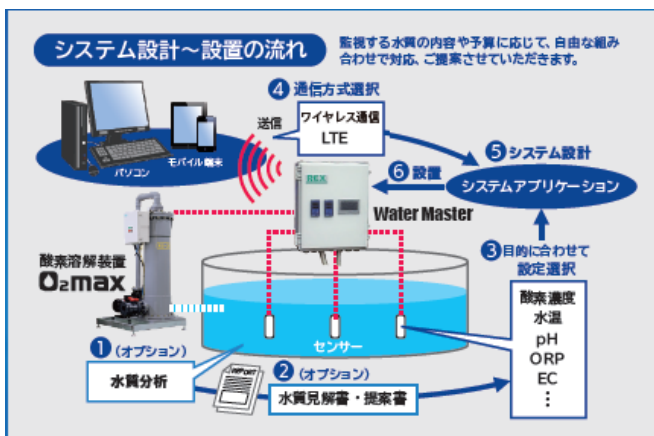


## ◆ デジタル式 圧力・満水試験記録器 みるみるくんIII (iOS®対応)



「みるみるくん」は業界初の商品で、配管検査（漏れ確認試験）である水圧試験・気密試験・満水試験などに使用するデジタル計測機器です。従来は、目視で確認・判定し、試験の記録（エビデンス）として写真を撮り、写真を貼り付け報告書を作成するアナログ的な試験方法でした。「みるみるくん」により自動計測・自動判定し、iPhone®・iPad®専用アプリで試験データを収集、グラフ化したデータを確認、転送し、パソコンで報告書を自動作成するスマートテストシステムです。配管検査の省人化・効率化による生産性向上、そして施工品質向上に貢献します。

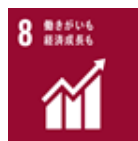
## ◆ 養殖池水質管理支援システム Water Master



Water Masterは養殖池の水質異常を事前に防ぐ為に開発された画期的なシステムです。このシステムでは水質を管理する為に水質の変動推移を記録し数値データをグラフ化することで状態を可視化します。水質の状態はタブレット等の端末で遠隔でも確認できます。最適な養殖環境の実現をサポートするために水質の変動許容値を設定し閾値を免脱すると設定したメールアドレスに以上を通知します。水質の可視化により作業者の水質に対する意識向上にも繋がり、勘や経験だけでなく数値という指標も活用して次世代への技術継承にも貢献します。

# 障がい者雇用への取り組み

創業以来、障がい者雇用には積極的に取り組み、障がい者の方が安心して働ける会社づくりを進めています。2025年6月現在では、障がい者雇用率は10.99%と高い雇用率を維持しています。具体的な取り組みとして、社内報告会では聴覚障がい者のために外部に手話通訳を依頼したり、入社員へ社会人として必要な知識の勉強会などを実施しています。これら取り組みの実施内容が認められ、2020年12月に「障がい者雇用優良中小事業主」（通称：もにす）に、大阪府で認定された最初の3社の一つとなりました。今年度も継続しています。



## ◆聴覚障がい者への取り組み

方針発表会等の会社の重要な行事や研修では、必ず外部より手話通訳者に来て頂き、報告・研修内容の理解に力をいれています。本社工場以外の聴覚障がい者にも伝わるように手話通訳はインターネット中継も行っています。また社内で手話勉強会も定期的に開催しております。



## ◆地域で働く障がい者への取り組み

毎年5月の第二日曜日に「大阪府布施障害者雇用対策協議会」を代表して、周辺企業で働く障がい者の支援として「東大阪市民ふれあい祭り」に参加しています。例年、会員企業様からの協賛品や社員から寄贈のバザー商品の販売で大いに盛り上がっています。また社員もバザー品を店の前に立って紹介したり、スーパーボールすくいなどで活気と楽しさに満ちたお祭りです。



バザー店での収益金は全て同対策協議会に寄付しています。

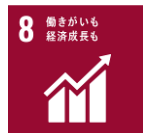
この寄付金は会員企業で働く障がい者の雇用定着を目的としたレクリエーションの一部に使われています。今回は、

「吉本新喜劇鑑賞」を企画して、招待した皆さんに楽しんで頂きました。



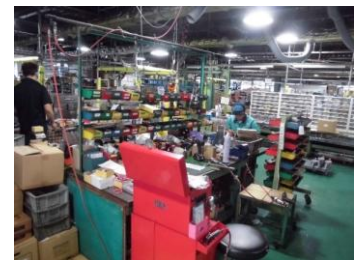
# 支援学校との交流

職場への受け入れは、春先の工場見学に始まり、6月以降は各支援学校と調整のうえ、随時職場実習を実施しています。また、季節ごとにたまがわ高等支援学校の生徒の皆さんに花壇へ花を植えていただいております。色とりどりの花々は近隣住民の方々にもご好評をいただき、今では当社の風物詩となっています。さらに、夏には採れたて野菜の販売も恒例行事となりました。



## ◆工場見学や職場実習の受け入れ

支援学校からの工場見学は、新学期に向けた職場実習先の検討などを目的に、毎年2月頃から始まります。今期は「たまがわ高等支援学校」「東大阪高等支援学校」からそれぞれ1~2名の生徒を受け入れ、体験学習を実施しました。ものづくりに興味のある生徒の皆さんは、見学中も興味津々で、意欲的に実習に取り組んでいました。実習後の質疑応答では多くの質問が寄せられ、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。来期も8月頃に工場見学の受け入れを予定しています。



## ◆野菜の即売会

たまがわ高等支援学校の生徒の皆さんが、毎年8月に、その日の朝に収穫したばかりの新鮮な野菜を持ってきてくださいます。これらの野菜は、昼休みの時間帯に社内で販売され、社員が我先にと集まり、毎年大変な盛況となっています。朝の収穫から販売準備、そして販売中も休むことなく一生懸命に取り組む生徒の皆さんの姿には、頭が下がる思いです。



## ◆季節を彩る花を花壇に♪

毎年季節を彩る花々を正門前の花壇に、たまがわ高等支援学校の生徒さんに植えて頂いています。植えられた花は成長が早く、近隣住民の方々も立ち止まり鑑賞していただいております。四季折々の花を眺めることができ、心がとても和みます。先生方や生徒さんには本当に感謝しております。



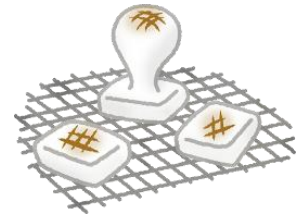
# 未来ある子供たちへの支援

これからの子どもたちのために何ができるかを考え、児童施設への定期的な寄付や、会社行事への招待などを中心に支援活動を継続しています。大阪市内の児童団体には毎月寄付を行うとともに、東大阪工場の近隣にある児童施設の子どもたちを会社行事へ招待しています。また、全社でペットボトルキャップの回収にも取り組み、支援団体を通じて世界中の貧困に苦しむ子どもたちへの支援につながるよう努めています。



## ◆児童施設への寄付

年末には、近隣の児童施設「生駒学園」へお餅の寄付を続けています。同時に、近隣の老人会へもお餅を寄贈しています。年明けには、同施設の子どもたちから毎年お礼の貼り絵が届きます。お餅を焼いてふくらむ様子を描いたかわいらしい作品などが、私たちの心を和ませてくれています。



また、「貧困や機会の格差をなくし、虐待に苦しむ子どもをゼロにする」という理念のもと活動されている「みらいこども財団」へ、毎月の寄付を継続しています。同財団は、大阪と東京を中心に児童養護施設への訪問活動を行っており、子どもたちへの支援に取り組まれています。



## ◆近隣児童施設の子どもたちとのふれあい

本社工場近くの児童施設「若江学院」の子供たちを東大阪市民ふれあい祭りに招待し、スーパーボールすくいを楽しんで頂きました。また、年末のクリスマスプレゼントの小さなお菓子のセットも恒例となり、毎年楽しみにして頂いています。



## ◆子どもたちの未来へ

当社は、「現場に最適な商品づくり」を志すものづくり企業として、未来を担う子どもたちの創造力を育む活動に協賛しています。大阪発明協会が主催する「青少年創造性開発育成事業」に賛同し、「生徒児童発明くふう展」や「少年少女チャレンジ創造コンテスト大会」などに記念品を提供することで、次世代の創造力を応援しています。



# 地球環境を大切に活動

「事業活動を通じて環境保護に貢献する」を環境方針に掲げ、設計段階から環境に配慮した製品づくりに取り組むとともに、生産活動における電力削減や、徹底したごみ分別による廃棄物削減（リサイクル率の向上）を重要項目として推進しています。特にごみの分別については、分別しやすい仕組みづくりの改善を積極的に進めています。



## ◆駅前清掃の継続

毎年、駅前までの道のりで清掃を行っています。ゴミも拾い出すと無心で集める社員の姿が見られ、心もきれいになったようでした。また、地域に育てられたご恩も忘れずにいたいものです。



## ◆近隣清掃活動の継続

毎週金曜日の朝には、全社員参加による工場周辺の清掃活動に取り組んでいます。近年では、近隣の皆様から「ありがとう」と声をかけていただく機会も増え、地域とのつながりが深まっていることを実感しています。今後も地域の一員として、美化活動を継続・推進してまいります。



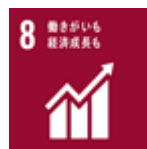
## ◆防災活動の継続



地地域消防署主催の自衛消防隊消防操法競技大会には、その年に入社した社員でチームを編成し、毎年参加しています。2025年度は昨年に引き続き、屋内消火栓操法の部で見事優勝を果たしました。また、消火器操法の部でも今年も敢闘賞を受賞しました。今後も地域の安全に貢献できるよう、防災活動を継続してまいります。

# 働きがいのある職場づくり

社は「三利の向上」のもと、社員満足につながる「働きがいのある職場づくり」を進めています。社員一人ひとりが健康で、活力ある職場を目指し、「ありがとう経営」をはじめとしたさまざまな取り組みを継続しています。



## ◆ありがとう経営の実践

「ほめ合う文化をつくろう！」を合言葉に始まった社内ネットワークの掲示板「ほめ合える掲示板」には、多くの「ありがとう！」の書き込みが寄せられています。掲示板の立ち上げから早くも10年以上が経過し、今ではレックスの文化としてすっかり定着しました。もちろん、掲示板だけでなく、日常の職場でも「ありがとう」の言葉が自然に飛び交っています。



## ◆効率よく仕事をするための工夫・改善

「仕事を楽に！」を目指し、さまざまな場面・工程・職場で改善活動が行われています。本年度は、優秀提案賞2件、努力賞2件が表彰されました。各職場特有の課題に対し、効率化やミスの削減、コストダウンを実現するために何ができるのかを考え、社内の協力を得ながらチームで問題解決に取り組んでいます。



## ◆健康経営優良法人認定の継続

2017年度より本格的に健康経営の取り組みを開始し、本年も健康経営優良法人の認定を継続して取得しています。「ブライツ500」の認定には至りませんでした。産業医をはじめとする専門スタッフと連携し、助言を受けながら職場環境のさらなる向上に取り組んでいます。今後も新たな施策を推進し、働きがいのある職場づくりに努めてまいります。





大正14年8月1日、創業者・宮川作次郎がレッキス工業の前身である宮川工具研究所を創立し、お客様に喜んでいただける配管機械工具の開発に日々努力・研鑽して参りました。

社は「三利の向上」にもあるように、我々は、お客様と社員と社会、すべての人が良い状態でなければ、会社の繁栄はあり得ないと考えています。

三利の“利”とは、商売の利や儲けのことだけをいっているのではなく、広い意味での「利」つまり「ためになること」を意味します。

企業として「お客様の心を捉えるものを造れなければ意味がない」「良い物を造っても売れなければ何もならない」が、創業者の経営哲学であり、お客様の心を捉えるために、どのような努力も惜しまず、全力投球でチャレンジすることが当社の根本精神です。

NOTE



NOTE



NOTE



# REX

## あ が り と う

明るく元気を職場をめざし

理想と理念を高く持ち

(か) 感じたことを言葉にして

共にほめ合い、助け合い

嬉しい気持ちを分かち合おう！

二〇一五年 一月二二日 今作

感謝

この「ありがとう！」語録は、私たちが目指す理想の姿「社員一人ひとりが元気で、働きがいのある会社」を実現するための「合言葉」になればいいなと、皆様の知恵を集めて作ったものです。

まさしく感謝とは「感じたことを言葉にして届けること」です。言葉でお互いの心と心がつながり合えば、きつと明るく楽しい職場や会社になることでしょ。

上司は部下の行動を感謝の気持ちでほめ、仕事は助け合いと、会社に居ると気持ちが湧き上がってくるような、そんな働きがいのある会社にしましょう！

レッキス工業株式会社